

「指導例」を有効に活用した単元の構想

1 学年・単元名

第5学年 「注文の多い料理店」(東京書籍)

2 単元目標

- ・表現のおもしろさを味わいながら進んで読むことができる。(「C 読むこと」指導事項エ)
- ・登場人物の心情や場面の様子を想像しながら読むことができる。(「C 読むこと」指導事項エ)
- ・作品(文章)を比べながら読み、叙述について自分の考えをまとめることができる。(「C 読むこと」指導事項オ)
- ・比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(カ))

3 指導にあたって

児童は、説明文「動物の体と気候」、物語文「世界で一番やかましい音」により、文章の構成に着目して、要旨をとらえながら読む学習をしてきた。また、説明文「新聞記事を読み比べよう」により、複数の資料を比較して、書き手の意図を読み取る学習もしてきた。これらの学習を通して、書かれていることの大体は読み取ることができるようになってきている。しかし、読み取ったことをもとに自分の考えを構築したり、話して伝えたりすることについては苦手な児童も見られる。また、自分の考えを話すことはできても、書き表すことが苦手な児童もいる。そこで、文章を比較したり評価したりしながら構成や表現の特色を読む力、読み取ったことをもとに自分の考えをもち、交流したり、書き表したりする力を身に付けさせたいと考えた。

本単元は、紳士と山猫のそれぞれの思惑と行き違いがユーモラスに描かれている作品である。「設定」「展開」「山場」「結末」が明確であり、内容をとらえやすい構成となっている。また、「山猫軒の戸」に書かれた言葉の二重の意味にもおもしろさがある展開となっている。さらに、情景描写が多く盛り込まれており、登場人物の会話や行動とつなぎ合わせながら登場人物の心情の変化をとらえたり、作者の表現の工夫を見付けたりする読み方を身に付けさせる上でも適した教材である。

本単元では、第二次に、「注文の多い料理店」を「二人の紳士の会話や行動」「戸に書かれた言葉」「情景描写(色や音、比喩など)」の3つの視点を意識して読むことにより「物語のおもしろさ」について考えさせる学習活動を設定した。これらの視点を意識することで、作者の表現の工夫に迫らせたい。また、第三次には、同じ作者の他の作品を読んで考えた「物語のおもしろさ」について、「解説ノート」に書きまとめさせる学習活動を設定した。他の作品と比較したり、評価したりして読ませることにより、物語に込められた作者の意図に気付かせたい。

4 評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none">・学習の見通しをもち、めあてに沿って読もうとしている。・場面のおもしろさを積極的に読み取ろうとしている。	<ul style="list-style-type: none">・情景描写と人物の心情の重なりを味わいながら読むことができる。・表現や構成の工夫、作者の伝えたいことをとらえながら読むことができる。	<ul style="list-style-type: none">・オノマトペ、繰り返し、比喩などの表現の工夫をとらえることができる。

5 関連させる「指導例」

指導例 『注文の多い料理店』評 (作成：滋賀県学校改善アクションプラン授業改善部会 国語部会)

6 「指導例」の位置付け

「指導例」は「注文の多い料理店」の結末の部分を取ったものであり、作品全体に貫かれている表現の工夫や作者の意図（自然から人間へのお仕置きなど）について考えさせるものである。「指導例」を、本教材を読む学習の最後に位置付けることにより、表現の工夫に着目して読むことや、作品を評価しながら読むことの力を身に付けさせたい。そして、それらの力を活用して同じ作者の他の作品のおもしろさをとらえ、作者や物語について自分なりの考えをもたせたい。

7 指導計画 ※太線で囲んだ部分は「指導例」を使った授業

次	時	本時の目標	学習活動（○印：評価規準 【 】：評価方法）	指導事項との関連
第一次見通しをもつ	1	宮沢賢治について知り、作品を読もうとする意欲をもつことができる。	・賢治の生い立ちや時代、作品を知り、作品を選んで読む。 ○物語の展開や作者に興味をもち、進んで読んだり考えたりしようとしている。【読書活動の様子】	
	2	「注文の多い料理店」のおもしろさについて、初発の感想を書くことができる。	・全文を通読し、初発の感想を書く。 ○物語のおもしろさについて、自分の考えを書こうとしている。【ワークシートの記述】	
	3	学習に対しての見通しをもつことができる。	・初発の感想を交流し、学習計画を立てる。 ○自分の考えを伝えたり、相違点に気付いたりすることができる。【発言や交流の様子】	
第二次物語のおもしろさを読み解く	1	時・場・出来事・人物の行動や気持ちなどに気を付けて、場面に分けることができる。	・場面構成をとらえ、「設定」「展開」「山場」「結末」の4場面に分ける。 ○場面の移り変わりをとらえ、自分の考えをもちながら場面を分けようとしている。【ワークシートの記述】	〔C 読むこと〕エ 〔C 読むこと〕オ
	2	二人の紳士の装いや言動を表す言葉から、人物像を考えることができる。	・「設定」を読み、言動などから紳士の人柄を考える。 ・考えたことを発表し合う。 ○叙述に即して登場人物像を考えようとしている。【ワークシートの記述】 ○交流を通して自分の考えを広げたり深めたりしている。【交流の様子】	〔C 読むこと〕エ 〔C 読むこと〕オ
	3	紳士の視点から物語を読み、表現のおもしろさをとらえることができる。	・「展開」「山場」を紳士の視点から読み、戸に書かれた言葉と紳士の言動を表にまとめる。 ・考えたことを発表し合う。 ○紳士の視点で読み、登場人物の言動や考えを表にまとめようとしている。【ワークシートの記述】 ○交流を通して自分の考えを広げたり深めたりしている。【交流の様子】	〔C 読むこと〕エ 〔C 読むこと〕オ
	4	山猫の視点から物語を読み、表現のおもしろさをとらえることができる。	・「展開」「山場」を山猫の視点から読み、戸に書かれた言葉の本当の意味を表にまとめる。 ・考えたことを発表し合う。 ○山猫の視点から、登場人物の言動や考えを表にまとめようとしている。【ワークシートの記述】	〔C 読むこと〕エ 〔C 読むこと〕オ

		○交流を通して自分の考えを広げたり深めたりしている。 【交流の様子】		
5	情景描写に着目して読み、物語の表現のおもしろさをとらえることができる。	・物語全体を情景描写に着目して読み、情景描写に表現された筆者の意図を考える。 ・考えたことを発表し合う。 ○色についての描写や繰り返し、比喩などの表現から考えられることをまとめようとしている。【ワークシートの記述】 ○交流を通して自分の考えを広げたり深めたりしている。 【交流の様子】	[C 読むこと]エ [C 読むこと]オ [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]イ(ク)	
6	資料の比較を通して、表現の違いとそのおもしろさをとらえることができる。	・紳士の変わったところ、変わっていないところをまとめる。 ・「指導例」の資料[A] [B]を比較して読み、表現による効果の違いをとらえる。 ・考えたことを発表し合う。 ○原文と原文に類似した文章を比べながら読み、その違いをとらえようとしている。【ワークシートの記述】 ○交流を通して自分の考えを広げたり深めたりしている。 【交流の様子】	[C 読むこと]エ [C 読むこと]オ [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]イ(ク)	
7	作品の構成や表現上の特色を踏まえ、自分の考えをもつことができる。	・「指導例」資料[C]により、原文と原文に類似した文章を評価しながら読む。 ・作品のテーマについて考える。 ・考えたことを発表し合う。 ○資料を比較しながら、評価・批評している。【発言の様子、ワークシートの記述】 ○交流を通して自分の考えを広げたり深めたりしている。 【交流の様子】	[C 読むこと]エ [C 読むこと]オ	
第三次 読書を 広げる	1	宮沢賢治の他の作品を読み、「解説ノート」作りの見通しをもつことができる。	・宮沢賢治の他の作品を読み、「解説ノート」作りに向けての計画を立てる。 ○選んだ作品を読み返し、「解説ノート」作りに向けての計画を立てようとしている。【ワークシートの記述】	[C 読むこと]カ
	2	宮沢賢治の作品の構成や表現の工夫など、自分が読んで考えた作品のおもしろさについて、「解説ノート」に書きまとめることができる。	・「解説ノート」作りをする。 *「宮沢賢治の考えが分かる一文」紹介（作品のテーマについて） *あらすじ *表現の工夫（比喩・繰り返し・情景描写など） *自分が感じた物語のおもしろさ ○自分の考えを明確にして「解説ノート」を作ろうとしている。【「解説ノート」の記述】	[C 読むこと]カ
	3			
	4	「解説ノート」の内容について、自分の考えと比べながら交流することができる。	・「解説ノート」の交流会をする。 ・同じ作品を選んだ者同士で学習グループを作り、「解説ノート」を交流する。 ○作品のおもしろや工夫を話し合おうとしている。【交流の様子】	[C 読むこと]オ

